

**6. 掘削調査状況報告（速報）
（平成20年02月16日まで）**

〔第12回対策委員会〕

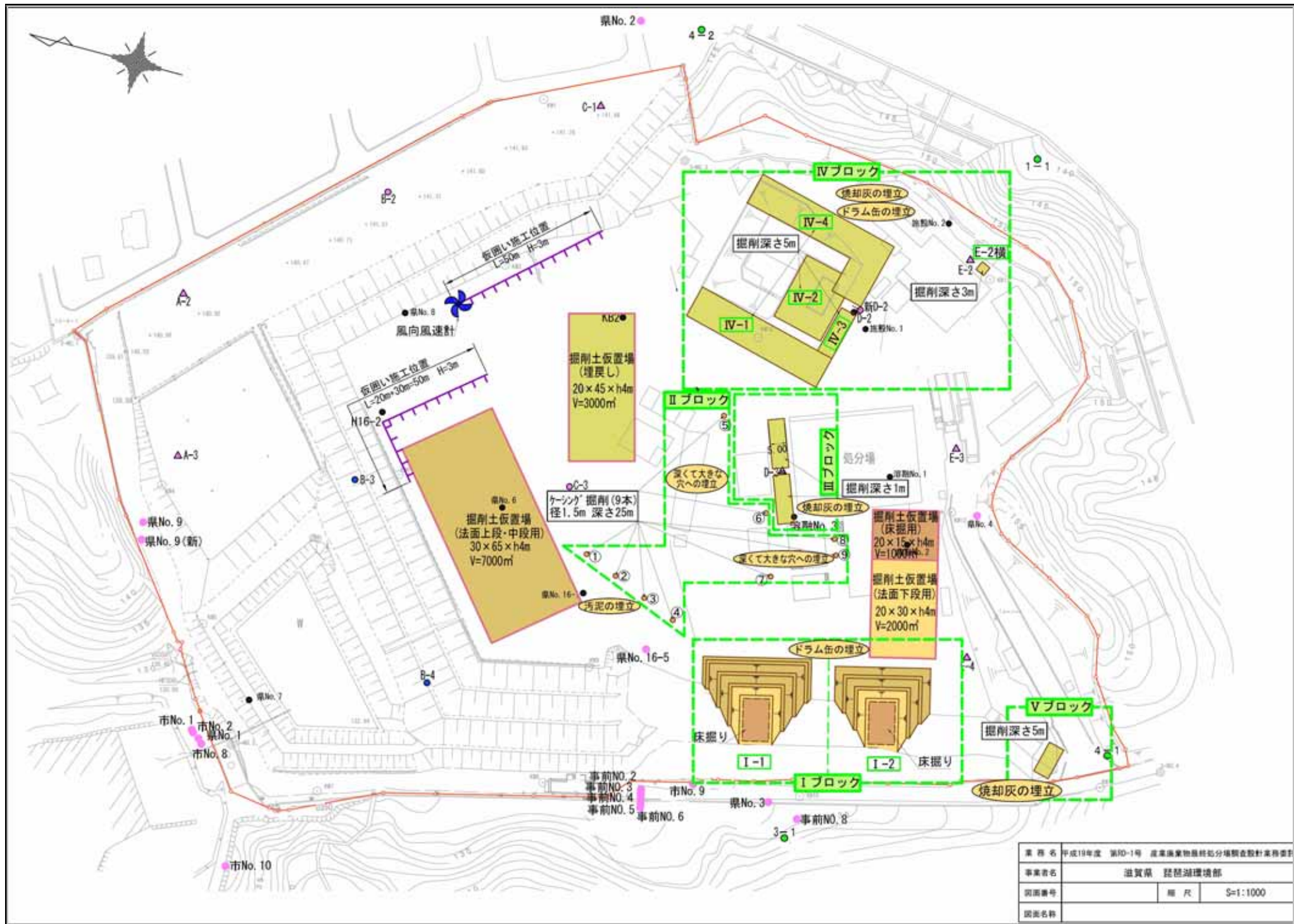
平成20年 2月

滋賀県琵琶湖環境部最終処分場特別対策室

< 目 次 >

資料6 . 掘削調査状況報告(速報)
(平成20年02月16日まで)

1 .	ブロックの調査状況	- 3 -
2 .	ブロックの調査状況	- 4 -
3 .	ブロックの調査状況	- 6 -
4 .	ブロックの調査状況 [平成20年2月20日の状況(速報)]	- 9 -



業務名	平成19年度 第FD-1号 産業廃棄物最終処分場閉鎖後設計業務委託		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	縮尺	S=1:1000	
図面名称			

掘削計画平面図



写真1 掘削調査箇所位置

1. ブロックの調査状況

ブロックでは、-1と-2で累計で約4,125 m³を掘削した。
調査日毎の実績・累積の掘削量は、表1.1に示すとおりである。

表1.1 掘削量の内訳表（平成20年2月16日までを集計）

日数 小区	1日	2日	3日	4日	5日	6日	7日	8日	9日	10日	累計
-1	320 m ³ (H19.11.01)	380 m ³ (H20.02.05)									700 m ³
-2	275 m ³ (H19.10.30)	490 m ³ (H19.10.31)	160 m ³ (H19.11.01)	560 m ³ (H20.02.06)	410 m ³ (H20.02.07)	380 m ³ (H20.02.08)	270 m ³ (H20.02.12)	320 m ³ (H20.02.14)	360 m ³ (H20.02.15)	200 m ³ (H20.02.16)	3,425 m ³

()は掘削を実施した日を示している。

(1) 廃棄物の種類等

土砂のほか確認された廃棄物としては、主にコンクリート片、金属類、プラスチック、ビニールなどが確認された。

(2) ドラム缶等の確認状況

他、ドラム缶などの異物については次のとおりである。

1) ドラム缶 : -2では、ドラム缶21個を確認した（平成20年2月16日まで）。

ドラム缶は個数が多いため、順次発見された順に固有の を割り当て屋内移動後、内容物を確認している。

1と2は中段の掘削後、当該廃棄物土を仮置場に移動し雑物除去等の作業時に確認された。3は上段の掘削時に確認された。4～7は下段の掘削時、8～21は床掘時に確認された。

内容物の内訳は右の表1.2に示す。

なお、ホームページ上で公開している速報と異なるものも一部にある。これは公開データが掘削作業中の観察結果でドラム缶の外側から付着物や臭気等を確認してのものであり、本とりまとめデータは屋内に移動後、開缶して内容物を目視確認したものであることに相違がある。

2) コンデンサ : -2の上段を掘削している際、複数種のコンデンサが24リットル容の箱で約4箱分が埋められていることを確認した。

このコンデンサは型番が判読できるものはメーカーに問い合わせし、PCBの含有がないことを確認した。

3) 白い固形物 : -2の上段を掘削している際、白い固形物(10kg袋が10袋以上)を確認した。現地でもpH値を測定をしたところ、一部がpH値11を示した。この白い固形物は分析の結果、重曹であることが判明した。

表1.2 ドラム缶内容物の内訳表（平成20年2月16日までを集計）

掘削日	固有	内容物	掘削日	固有	内容物
2.06	1	空	2.15	7	空
2.06	2	空	2.15	8	空
2.14	3	塗料	2.15	9	空
2.14	4	コールタール状	2.15	10	空
2.14	5	空	2.15	11	空
2.14	6	コンクリート系汚泥	2.15	12	空
			2.15	13	鉋さい
			2.15	14	鉋さい
			2.15	15	鉋さい
			2.15	16	鉋さい
			2.15	17	鉋さい
			2.15	18	鉋さい
			2.15	19	鉋さい
			2.15	20	空
			2.16	21	コールタール状

注) : 内容物性状を視認し推定した内容物を示す。

掘削時の外観から推察した公表データと相違があるものは で明示した。

2. ブロックの調査状況

ブロックでは、ケーシング掘削を2月5日より開始し2月16日にまでに予定の 9 の箇所の調査すべてを終了した。本調査では、3m毎に採取した廃棄物の観察とケーシング孔内のガスの測定を実施した。

(1) 廃棄物の種類等

確認した廃棄物は、次頁の表2.2に示す。

全9孔のケーシング掘削で様に認められる廃棄物は、既往調査と同様に土砂のほか、コンクリート片、金属類、プラスチック、ビニール、木片などが確認された。

許可品目外の金属類、木片の混入は全9孔で確認された。

なお、 は汚泥の埋め立てが疑わしいとされたところであるが、汚泥らしき廃棄物は視認できなかった。

(2) 有害ガス等測定結果

表2.1に硫化水素等の有害ガス測定結果を示す。

可燃性ガスは、 、 、 および の5孔で確認され、その濃度範囲は0.00~0.10%であった。

硫化水素は全9孔で確認され、その濃度範囲は0.0~2.0ppmであった。

二酸化炭素は全9孔で確認され、その濃度範囲は0.00~0.25%であった。

アンモニアは、 、 および の3孔で確認され、その濃度範囲は0.0~0.35ppmであった。

揮発性有機化合物は、全9孔で不検出であった。

表2.1 有害ガス等の測定結果

測定日時	深度 [m]	酸素 [%]	有害ガス				揮発性有機化合物				孔内温度 []	気温 []
			可燃性ガス [%]	硫化水素 [ppm]	二酸化炭素 [%]	アンモニア [ppm]	トリクロロ エチレン [ppm]	1,2-ジクロロ エチレン [ppm]	テトラクロロ エチレン [ppm]	ベンゼン [ppm]		
ケーシング孔 - :平成20年2月16日												
10:21	3.00	20.6	0.00	1.5	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	12.1	5.0
10:52	6.00	20.8	0.00	1.5	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	18.0	6.0
11:13	9.00	21.0	0.00	0.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	22.5	10.0
11:41	12.00	20.9	0.00	0.5	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	23.6	11.0
13:21	15.00	20.8	0.00	1.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	23.2	8.0
13:52	18.00	20.7	0.00	0.5	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	22.3	7.0
14:39	19.00	20.8	0.00	1.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	26.7	7.0
ケーシング孔 - :平成20年2月15日												
10:13	3.00	20.8	0.00	1.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	12.8	9.0
10:47	6.00	20.9	0.00	0.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	14.7	6.0
11:12	9.00	20.8	0.05	1.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	18.4	7.0
11:45	12.00	21.0	0.00	0.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	22.5	15.0
13:27	15.00	20.8	0.00	0.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	28.0	10.0
14:02	18.00	21.0	0.00	0.5	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	24.3	14.0
14:49	19.00	20.7	0.00	1.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	28.8	9.0

表2.1 有害ガス等の測定結果

測定日時	深度 [m]	酸素 [%]	有害ガス				揮発性有機化合物				孔内温度 []	気温 []
			可燃性ガス [%]	硫化水素 [ppm]	二酸化炭素 [%]	アンモニア [ppm]	トリクロロ エチレン [ppm]	1,2-ジクロロ エチレン [ppm]	テトラクロロ エチレン [ppm]	ベンゼン [ppm]		
ケーシング孔 - :平成20年2月14日												
9:23	3.00	21.0	0.10	2.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	4.3	4.0
9:57	6.00	20.7	0.00	1.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	14.2	4.0
10:21	9.00	20.9	0.10	1.0	0.20	0.0	ND	ND	ND	ND	14.2	5.0
10:55	12.00	21.0	0.00	1.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	21.0	6.0
11:25	15.00	20.7	0.05	0.5	0.15	0.0	ND	ND	ND	ND	25.1	5.0
13:20	18.00	20.7	0.05	2.0	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	26.2	8.0
14:15	19.00	20.6	0.00	1.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	29.6	12.0
ケーシング孔 - :平成20年2月12日~13日												
14:42	3.00	20.8	0.00	0.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	12.7	9.0
16:10	6.00	20.8	0.00	0.5	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	18.4	7.0
9:15	9.00	20.7	0.00	1.0	0.15	0.0	ND	ND	ND	ND	22.5	3.0
9:55	12.00	20.7	0.00	2.5	0.15	0.0	ND	ND	ND	ND	21.9	2.0
10:32	15.00	20.5	0.05	1.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	28.5	3.0
11:06	18.00	20.7	0.00	0.5	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	26.4	7.0
11:51	19.00	20.8	0.00	0.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	27.2	7.0
ケーシング孔 - :平成20年2月7日												
10:27	3.00	20.8	0.00	1.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	9.0	6.0
11:00	6.00	20.9	0.00	0.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	11.1	9.0
11:22	9.00	21.0	0.00	0.0	0.20	0.0	ND	ND	ND	ND	20.5	8.0
11:54	12.00	21.0	0.00	0.0	0.15	0.5	ND	ND	ND	ND	20.1	8.0
13:23	15.00	20.5	0.00	0.0	0.20	1.0	ND	ND	ND	ND	16.1	10.0
13:57	16.00	20.8	0.10	1.0	0.10	1.0	ND	ND	ND	ND	18.5	7.0
ケーシング孔 - :平成20年2月8日												
10:42	3.00	21.0	0.00	0.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	9.8	6.0
11:29	6.00	21.0	0.00	0.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	15.0	6.0
11:50	9.00	20.7	0.00	0.5	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	16.7	9.0
13:31	12.00	21.0	0.00	0.5	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	17.8	8.0
14:09	15.00	20.8	0.00	0.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	16.2	8.0
14:47	17.80	21.0	0.00	0.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	19.6	7.0
ケーシング孔 - :平成20年2月9日~12日												
10:12	3.00	21.0	0.00	0.0	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	6.3	2.0
10:57	6.00	20.6	0.00	1.5	0.15	0.0	ND	ND	ND	ND	5.9	2.0
11:27	9.00	20.7	0.00	1.5	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	13.9	2.0
09:19	12.00	20.5	0.00	0.5	0.20	0.0	ND	ND	ND	ND	16.4	7.0
09:54	15.00	20.3	0.00	1.5	0.25	0.0	ND	ND	ND	ND	19.2	7.0
10:32	18.00	20.4	0.00	1.0	0.15	0.0	ND	ND	ND	ND	20.1	7.0
11:19	20.00	20.6	0.00	0.5	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	20.6	7.0
ケーシング孔 - :平成20年2月5日												
11:28	3.00	21.0	0.00	1.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	10.5	7.5
12:05	6.00	20.9	0.00	0.5	0.05	0.0	ND	ND	ND	ND	13.6	7.5
13:40	9.00	21.0	0.05	0.5	0.00	3.5	ND	ND	ND	ND	14.7	7.5
14:20	12.00	20.8	0.00	0.0	0.10	3.5	ND	ND	ND	ND	19.4	7.0
15:21	15.35	21.0	0.00	0.0	0.05	2.0	ND	ND	ND	ND	18.7	9.0
ケーシング孔 - :平成20年2月6日												
9:57	3.00	21.0	0.00	0.5	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	7.5	4.0
10:34	6.00	21.0	0.00	1.5	0.10	1.0	ND	ND	ND	ND	11.7	8.0
10:50	9.00	21.0	0.00	0.0	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	13.0	8.0
11:40	12.00	20.7	0.00	0.0	0.00	0.0	ND	ND	ND	ND	16.7	10.0
13:41	14.20	21.0	0.00	0.0	0.10	0.0	ND	ND	ND	ND	15.7	9.0

表 2.2 ケーシング掘削における廃棄物の種類（外観を視認）

ケーシング掘地点	【廃棄物埋立深さ 21.5m】	【廃棄物埋立深さ 22.0m】	【廃棄物埋立深さ 21.5m】	【廃棄物埋立深さ 22.0m】	【廃棄物埋立深さ 18.0m】	【廃棄物埋立深さ 14.0m】	【廃棄物埋立深さ 17.0m】	【廃棄物埋立深さ 12.3m】	【廃棄物埋立深さ 10.8m】
深度 0 ~ 3m	土砂、ビニール、コンクリートガラ、タイル片、レンガ片、瓦片、木片、廃プラスチック、コンクリートブロック	土砂、木片、鉄くず、ブルーシート、プラスチック片、タイヤ、鉄筋、レンガ片、瓦片	土砂、プラスチック片（細断した塊）、ビニール片、レンガ片、コンクリートガラ、紙くず、瓶、木くず、鉄筋	土砂、発泡スチロール、ビニール片、銅線、プラスチック片、鉄くず、合板、ガラス片、蛇腹ホース、ゴム片、水道管、コンクリートガラ、木片	土砂、ビニール（塊）、プラスチック片、タール（粘性少）、ブロック、木片、鉄筋、コンクリートガラ、ゴム、銅線、ボリングの玉	レンガ片、ビニール片、コンクリートガラ、鉄くず、塩ビ片、銅線、鉄筋、木片、タイヤ、ブルーシート、短管、ビニール紐、ガラ（多し）	木片、コンクリートガラ、土砂、レンガ片、ゴム片、瓦片、鉄くず、土嚢袋、ビニール片、鉄筋、タイル片	土砂、コンクリートガラ、鉄くず、プラスチック、ゴム	土砂、コンクリートガラ、鉄筋、ビニール片、木片、紙くず、塩ビ管、プラスチック、ゴム
深度 3 ~ 6m	土砂、ビニール、コンクリートガラ、タイル片、レンガ片、瓦片、木片、廃プラスチック、コンクリートブロック、6m付近において注射器	土砂、ビニール片、紙類、コンクリートガラ、プラスチック片、ガラス片、コンクリートガラ、コンクリートブロック、白く脆い固形物	土砂、衣類（肌着）、ビニール片、ガラ、木片、塩ビ管、レンガ片、蛇腹ホース	石膏ボード片、ビニール片、木片、ゴムシート、プラスチック片、コンクリートガラ、空缶、鉄筋、竹、カーペット、銅線	土砂、塩ビ管、ビニール類、プラスチック片、木片、タール（粘性少）、タイル片、銅線、金属片	木片、ビニール片、タイヤ、コンクリート塊（1m大）レンガ片、塩ビ片、ビニール紐	土砂、断熱材、木片、PPロープ、鉄くず、瓦片、ビニール片、ガラ、塩ビパイプ、ゴム	コンクリート片、紙くず、鉄タイル、ビニール、ブロック、ワイル、瓦片、金属類	紙くず、鉄筋、ビニール、ブロック、タイル、瓦片、空き缶、コンクリート片、発泡スチロール、断熱材、金属類
深度 6 ~ 9m	土砂、ビニール（多し）、コンクリートガラ、タイル片、レンガ片、瓦片、木片、廃プラスチック、コンクリートブロック、暗茶褐粘土	コンクリートガラ、木片、土砂塊（ガラ混じる砂質シルト）、ビニール片、瓦片、スレート片（廃棄物が全体に少ない）	土砂、プラスチック片、ビニール片、コンクリートガラ、紙くず、ゴムホース、ブロック、木片、空缶、薬瓶、レンガ片、ガスホース、瓦片、タイル片、鉄筋コンクリートガラ	ビニール（肥料袋）瓶、ゴム片、木片、鉄くず、タイル	ゴム、発泡スチロール、木片、コンクリートガラ、金属くず、ビニール	レンガ片、ビニール片、コンクリートガラ、ゴム片、木片、プラスチック類、銅線、土管（40cm大）	土砂、断熱材、木片、PPロープ、鉄くず、瓦片、ビニール片、ガラ、塩ビパイプ、ゴム、布類	木くず、紙くず、ビニール片、ゴム、コンクリートガラ、プラスチック、レンガ片	レンガ片、ビニール片、ゴム、木くず、紙くず、コンクリートガラ（25cm程度の柱状）、プラスチック
深度 9 ~ 12m	土砂、鉄くず、コンクリートガラ、木片、塩ビ片、ビニール片、レンガ片	土砂、瓦片、ビニール片（多し）、コンクリートガラ、鉄くず、木片、ブロック、破碎したアスファルト、タイル片	土砂、木片、レンガ片、ビニール片、コンクリートガラ、タイヤ片、ブロック、鉄筋	ビニール、瓶、ダンボール紙片、ブルーシート、木片	ビニール、波板、木片、土嚢袋、コンクリートガラ、タイヤ（ホイール付）、発泡スチロール	プラスチック片、レンガ片、ガラ、ビニール片、縄、発泡スチロール、木片	コンクリートガラ（40cm大）瓶、ビニール、木片、ゴム、鉄くず、銅線、レンガ片	木くず、ビニール、紙くず、レンガ、コンクリートガラ、プラスチック片、ビニール	コンクリートガラ、軽量コンクリート、木くず、縄、ビニール、紙くず、レンガ ----- 深度 10.8mにおいて地山を確認し、深度 14.2mにて掘止めとする。
深度 12 ~ 15m	土砂、ビニール（多し）、コンクリートガラ、プラスチック片、木片、鉄線、ロール状のビニール	土砂、ビニール片、ガラス瓶、木片、プラスチック類、コンクリートガラ、ブルーシート、タイル片、鉄筋	土砂、プラスチック板、ビニール、木片、コンクリートガラ、ビニール紐	ビニール片、タイヤ片、ゴム片、プラスチック片、レンガ片、ビニール紐、瓦片	ビニール片、プラスチック片、木片、レンガ片、鉄くず、金属片、タイル、コンクリートブロック	ガラ、コンクリートガラ、ビニール片、木片、紙類、プラスチック片、レンガ片、紙類 ----- 深度 14.0mにおいて地山を確認し、深度 17.8mにて掘止めとする。	コンクリートガラ（40cm大）瓶（多し）、ビニール、木片、ゴム、鉄くず、銅線、紙類	コンクリートガラ、木くず、ビニール、紙くず、レンガ ----- 深度 12.3mにおいて地山を確認し、深度 15.35mにて掘止めとする。	
深度 15 ~ 18m	土砂、ビニール（多し）、コンクリートガラ、プラスチック片、木片、鉄線、ロール状のビニール	ガラ（多し）、レンガ片、瓦片、紙類、ビニール片、紐、木片、電柱の碍子	土砂、プラスチック板、ビニール、木片、コンクリートガラ、ビニール紐、鉄板	土砂、ビニール片、ビニール紐、銅線、タイヤ、ゴムハン、木片、レンガ片、瓦片、鉄くず	ビニール片、木片、銅線、布切れ、コンクリートガラ、プラスチック片、樹脂状Pの固形物、紙類 ----- 深度 18.0mにおいて地山を確認し、深度 21.0mにて掘止めとする。		鉄くず、ガラ、ビニール片、木片（多し） ----- 深度 17.0mにおいて地山を確認し、深度 20.0mにて掘止めとする。		
深度 18 ~ 21m	ガラ（多し）鉄筋、既製杭	ガラ（多し）レンガ片、瓦片、紙類、ビニール片、紐、木片	土砂、プラスチック板、ビニール、木片、コンクリートガラ、ビニール紐、深度21m鉄板	コンクリートブロック、銅線、木片、鉄筋、瓦片、ビニール片、ロール状のビニール ----- 深度 20.0mにおいて地山を確認し、深度 23.0mにて掘止めとする。					
深度 21 ~ 24(25)m	ガラ、鉄筋 ----- 深度 21.5mにおいて地山を確認し、深度 25.0mにて掘止めとする。	ガラ（多し）レンガ片、瓦片、紙類、ビニール片、紐、木片 ----- 深度 22.0mにおいて地山を確認し、深度 24.8mにて掘止めとする。	深度 21.5mにおいて地山を確認し、深度 24.0mにて掘止めとする。						
採水時データ	掘進深度	深度 21.0m	深度 21.0m	深度 21.0m	深度 18.0m	孔内水が認められず、採水不可。	孔内水が認められず、採水不可。	孔内水が認められず、採水不可。	孔内水が認められず、採水不可。
	孔内水位	深度 19.5m	深度 19.5m	深度 19.8m	深度 16.2m				
	pH	10.6	10.5	10.8	7.6				
	電気伝導率	135 mS/m	151 mS/m	133 mS/m	160 mS/m				
	水温	24.7	25.3	25.5	19.9				
	色	暗黒灰	暗茶褐	黒褐	黒褐				
臭気	油臭（少）	油臭（少）	油臭（少）	硫化水素臭	硫化水素臭				

3. ブロックの調査状況

ブロックでは、-1と-4で試掘を含め累計で約1,590 m³を掘削した。
調査日毎の実績・累積の掘削量は、表3.1に示すとおりである。

表3.1 掘削量の内訳表（平成20年2月16日までを集計）

小区	日数	1日	2日	3日	4日	5日	累計
-1	試掘	80 m ³ (H20.02.04)					80 m ³
-4		300 m ³ (H20.02.04)	530 m ³ (H20.02.05)	350 m ³ (H20.02.14)	180 m ³ (H20.02.15)	150 m ³ (H20.02.16)	1,510 m ³

()は掘削を実施した日を示している。

(1) 廃棄物の種類等

土砂のほか確認された廃棄物としては、主にコンクリート片、金属類、プラスチック、ビニールなどが確認された。

(2) ドラム缶等の確認状況

他、ドラム缶などの異物については次のとおりである。

- 1) 金属くず : -1では、試掘した箇所について金属くず（鉄筋）が集中して埋め立てられていた（写真3.1および写真3.2参照）



写真3.1 試掘(掘削状況)



写真3.1 掘り出された鉄筋塊

- 2) 医療系廃棄物 : -4では、医療系廃棄物が集中して埋め立てられていた。
医療系廃棄物の埋め立て状況と、掘り出された医療系廃棄物を左記に示す。



写真3.3 医療系廃棄物の埋め立て状況(その1)



写真3.4 医療系廃棄物の埋め立て状況(その2)



写真 3.5 取り出した医療系廃棄物

- 3) ドラム缶 : -1 から 2 個、 -4 から 58 個の累計 61 個が確認された。
その内容物の内訳は表 3.2 に示す。

表3.2(1) ドラム缶内容物の内訳表(平成20年2月16日までを集計)

掘削日	固有	内容物	掘削日	固有	内容物
2. 4	1	コンクリート	2. 4	2	空

注) : 内容物性状を視認し推定した内容物を示す。
掘削時の外観から推察した公表データと相違があるものは で明示した。

表3.2(2) ドラム缶内容物の内訳表(平成20年2月16日までを集計)

掘削日	固有	内容物	掘削日	固有	内容物
2. 4	1	塗料かす	2.15	30	コー尔特ール状
2. 4	2	空	2.15	31	空
2. 5	3	コー尔特ール状・ゴミ	2.15	32	コー尔特ール状
2. 5	4	コー尔特ール状	2.15	33	コー尔特ール状
2. 5	5	コー尔特ール状	2.15	34	空
2. 5	6	コンクリート	2.15	35	空
2. 5	7	コー尔特ール状	2.15	36	空
2.14	8	空	2.15	37	空
2.15	9	コー尔特ール状	2.15	38	コー尔特ール状
2.15	10	コー尔特ール状	2.15	39	空
2.15	11	コー尔特ール状	2.15	40	コー尔特ール状
2.15	12	空	2.15	41	空
2.15	13	空	2.15	42	コー尔特ール状
2.15	14	コー尔特ール状	2.15	43	コー尔特ール状
2.15	15	空	2.15	44	樹脂系
2.15	16	コー尔特ール状	2.15	45	塗料系
2.15	17	塗料固化物(グレー)	2.16	46	空
2.15	18	塗料かす	2.16	47	空
2.15	19	コー尔特ール状	2.16	48	コー尔特ール状
2.15	20	空	2.16	49	空
2.15	21	空	2.16	50	塗料系
2.15	22	コー尔特ール状	2.16	51	空
2.15	23	コー尔特ール状	2.16	52	空
2.15	24	コー尔特ール状	2.16	53	空
2.15	25	樹脂状	2.16	54	コー尔特ール状
2.15	26	塗料固化物	2.16	55	樹脂系
2.15	27	空	2.16	56	空
2.15	28	塗料系固化物(赤紫)	2.16	57	コー尔特ール状
2.15	29	空	2.16	58	空

注) : 内容物性状を視認し推定した内容物を示す。
掘削時の外観から推察した公表データと相違があるものは で明示した。



2/15 IV-4⑨～⑫ スロープ下部1.0m～1.5m

スロープ



2/15,16 IV-4⑬～58 スロープ下部1.0m～2.5m

ドラム缶埋立箇所
GL-1.0m～2.5m間



2/15,16 IV-4⑬～58 スロープ下部1.0m～2.5m



2/15,16 IV-4⑬～58 スロープ下部1.0m～2.5m

ドラム缶下はコンクリートガラが層状に埋立されている。

写真3.6 -4におけるドラム缶の埋め立て状況

4. ブロックの調査状況 [平成20年2月20日の状況(速報)]

ブロックは、平成19年8月の県D-3のボーリング調査で焼却灰が確認されたため、当該焼却灰の分布を把握する目的で実施しているものである。

ブロックの掘削調査状況を以下に示す。



写真4.1 掘削の状況

-1 (D-3地点の西側ブロック)

- ・掘削状況
- ・焼却灰が確認されたD-3地点より西側1mより掘削開始したが、焼却灰は確認されなかった。



写真4.3 切削クズの確認・埋め立て状況(拡大)

切削くずの拡大写真

- ・切削くずの範囲を拡大したもの。
- ・約1mの円状に切削くずが厚さ5cm程度で混入している。



写真4.2 切削クズの確認・埋め立て状況

-1 掘削状況

- ・D-3地点へさらに0.5m近づいて掘削したところ、切削くずが確認された(赤丸の範囲)。



写真4.4 切削くず中の建材

切削くずの中から取り出した建材

- ・壁材と推定される。

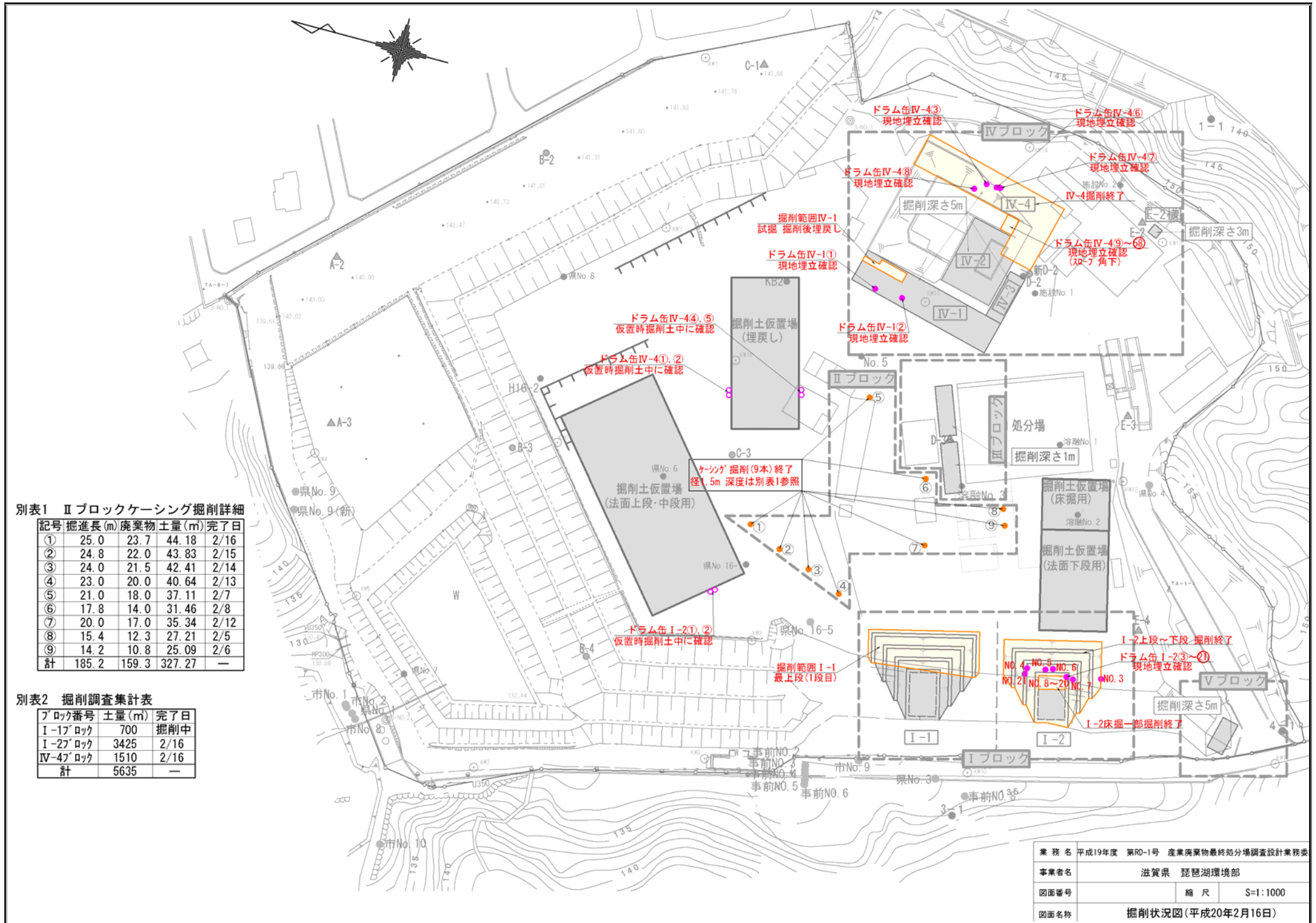


図4.1 掘削調査状況図

業務名	平成19年度 第RD-1号 産業廃棄物最終処分場調査設計業務委		
事業者名	滋賀県 琵琶湖環境部		
図面番号	縮尺	S=1:1000	
図面名称	掘削状況図(平成20年2月16日)		